

蕨市立病院整備基本構想・基本計画（案）説明会概要

と き：令和7年2月12日（水）

午後7時～

ところ：文化ホールくるる

参加者：72人

○蕨市立病院整備基本構想・基本計画（案）の説明の後、意見交換が行われました。

【質問者】

先日行った病院には、コンビニやコーヒーショップが入っており、そういったものが必要と思うが、市立病院でも予定しているか。

【市立病院事務局長】

設計の中でちょっとしたものが入れられれば理想的であるが、当院の規模では難しい面もあると考えている。

【質問者】

事業費については、どこから捻出する予定か、また病院としてそれをペイする計画はどのようなか。

【市立病院事務局長】

起債を行い30年くらいで返済する予定である。また、国の基準で、工事の場合は2分の1を一般会計から繰出せるとなっており、その他補助金等活用を図るとともに、病院の収益を上げていくことも必要と考えている。

【質問者】

何階建ての建物となる予定か。

【市立病院事務局長】

具体的には設計における検討となるが、4～5階程度を想定している。高さは形状にもよるが、仮に階高4m程度とすると20数mの建物となると想定している。

【質問者】

障害者などへの対応に関し、今後も内容についての要望を聞いていただける機会が欲しい。

【市立病院事務局長】

障害者などへの対応については、この間も説明会の中で、レスパイト入院などの話をいただいている。今後も病院の方にもご意見を寄せていただきたい。

【質問者】

交通アクセス、交通手段の充実については必要なことと思う。具体的にはどのように検討されているか。

【市立病院事務局長】

これまでも交通アクセスについてはたくさんご意見いただいております。現在、担当部署においてコミュニティバスのルートなどについての検討を進めているところである。

【質問者】

病院の建設には、1床あたり1億円かかるという話も聞いたことがあるが、果たして大丈夫か。

また、市立病院については、今年赤字の見込みであるとのことだが、今後黒字化する見込みはあるのか。

【市立病院事務局長】

建設費は、病院の機能にもよるので、一概に1床1億円がかかるとは思っていない。しかし今後の資材の高騰、人件費の高騰が考えられるなかで、できるだけローコストでの建設を進めてまいりたい。

また、赤字については、当院に限らずコロナ禍以降、病院経営は厳しい状況だが、病床利用率を高める努力など一丸となって収益改善に向けて努力している。整形外科の日曜日の救急受け入れなども開始したほか、3月からジェネリック加算の算定や、来年度からの回復期の運用開始なども進めているところである。

【質問者】

事業者の選定は、一般競争入札か、指名競争か。

【市立病院事務局長】

次年度からの設計については、プロポーザルを考えている。

【質問者】

健診センターについては、健診利用者と、病院の患者さんの動線が交わらないようにすることや、高齢者が増える中で拡充なども必要と思うが、考えはどのようなか。

【市立病院事務局長】

動線が交わることは基本的にはないようにしたいと考えているが、胃カメラなど共有するようなものもあるので、その動線をどうするかというのは設計の中で検討していきたい。また現状より拡充し、より多くの方に利用していただきたいと考えている。

【質問者】

現病院の敷地は、移転後どのようなようになるのか。

【市長】

この質問のほか、これまでの質問についてもいくつか、市としての考えを市長として回答したい。

まず、跡地の今後の予定については、未定である。今当面市としてこの土地を必要とする行政的な課題はないが、将来的には、市民体育館、市民会館など建て替える場合の土地など将来を見据えながら検討していく。

また、建設費についてのご質問があったが、基本構想・基本計画で示しているものは、具体的な事例の平均的な値をもとに根拠をもって出しているものであるが、その後もコストも上がっているということで、ローコストの努力を最大限進めていきたいと考えている。

また、病院経営面では、大前提として公立病院は不採算部門も担う使命がある。そこで、一般会計からの繰出し基準として蕨市立病院の場合では4億数千万円であるが、同時に病院の経営努力もすることで、これまで繰出しを2億5千万円に抑えてきている。ただコロナ禍以降の厳しい状況の中であるため、繰出し基準の範囲の中で、経営努力も進めながら繰出しをして行く必要もあると考えている。